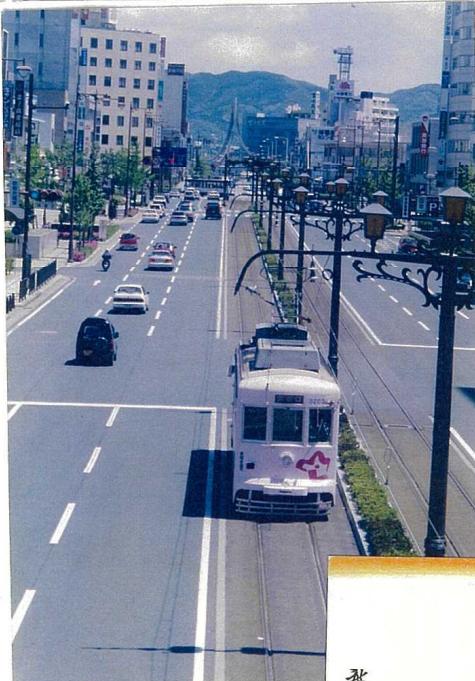


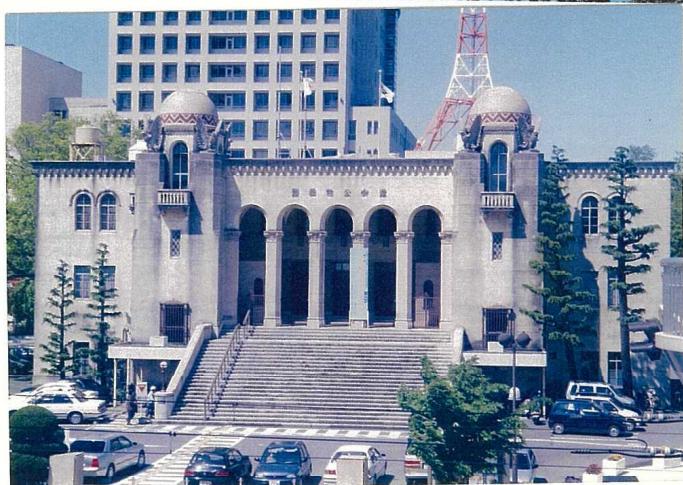
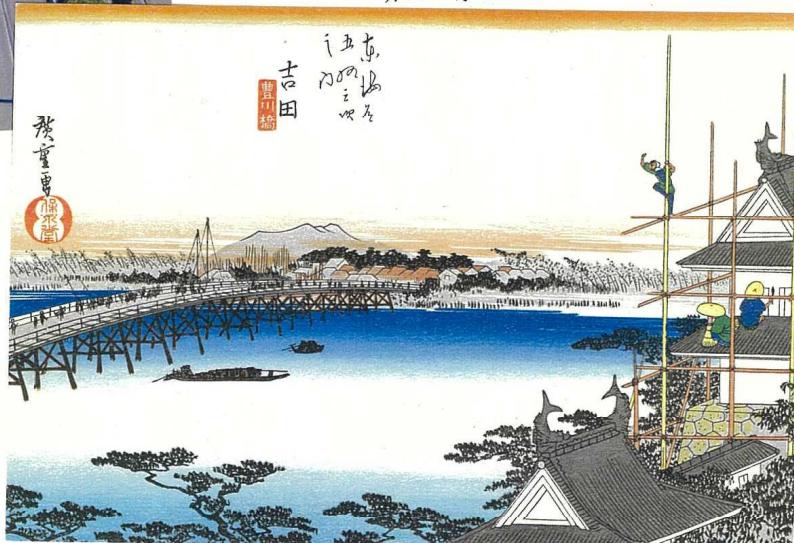
環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



懐かしい路面電車が
走る町は歴史と文化が
ある東三河の中心地。
吉田宿五十三次
吉田宿は現社の豊橋市の中ほどに位置する。
中世には今橋と呼ばれていたが、永正二年（1505）に大いに城を築いて以来、城下町として発展した。
豊橋は久しぶりに現代的牧野古戻が
が都市新幹線の止まる大いにこれまで
きな駅やビルがどこか新しく感じ
鮮に感じられる。



豊川市に入ると、高齢の神様豊川稻荷がある。初詣客が全國でも五本の指に入る。
この地方をさうの名所である。
お稱御さん曰普通は正一位稻荷大明神
などと書かれた赤い木札や朱の鳥居を遠
想するが、豊川稻荷はこれとは趣旨がなり
と異にして、莊嚴かつ堂々たる靈場であり、驚
きのも不思議な事である時代に創建された妙嚴
寺といふ曹洞宗の名刹である。豊川稻荷本
寺の寺の鎮守として別に祀られた豊川稻荷
尼真天のことなのだ。